

～ こだいらの **未来** のための計画～

# (仮称)小平市第四次長期総合計画 策定状況 ニュースレター

第10号

(令和元年 10月)

※不定期発行

小平市では現在、新たな「長期総合計画」(※1)の策定に取り組んでいます。策定状況や取組について、広く市民の皆様にお知らせするため、このニュースレターを発行しております。

今後もお愛読のほど、よろしくお願いいたします。

(※1)「長期総合計画」については、裏面をご参照ください。

## 次期長期総合計画の策定に向けて 市民活動団体意見交換会 開催！

次期長期総合計画を策定するにあたり、市民活動を行っている方々からご意見をいただく機会として、「市民活動団体意見交換会」を開催しました。5月の市民ワークショップで好評をいただいた、自治体経営シミュレーションゲーム「SIMULATION こだいら 2030」(※2)も活用し、和やかな雰囲気の中で、多くのご意見をいただきました。



日時	令和元年9月27日(金) 12:30～
場所	小平市福祉会館 4階 小ホール
対象	小平市民活動支援センター あすぴあ登録団体に所属している方
内容	自治体経営シミュレーションゲーム「SIMULATION こだいら 2030」及び意見交換会
参加者	20人

当日の様子や感想…

「行政と市民が一丸となってやりましょう！」

「SIMULATION こだいら 2030」では、架空の都市「けいみらい市」の予算を編成するために、参加者がそれぞれ部長となり、事業の取捨選択等を行います。どのようなまちづくりを進めるか、各グループで真剣な意見交換と決断が進められました。相互に議員役となり、他グループに質問をする「模擬議会」では、白熱の質疑も。

ゲーム終了後は、「市民が担う未来の小平市」というテーマで意見交換を行い、グループごとに発表をしていただきました。



発表では、「地域資源を活かしたまちづくり」や「住みやすさ」、「市民の連携」等の他、「ペットにもやさしい街に」などの意見もありました！



【アンケートより】

- ・自分が部長になって考えるのは、想定外のことで面白かった。
- ・目指しているものは同じ（安心してらせるまち）。
- ・事業の選択（何をを選び、何をやめるか）はとても疲れた。長期的な視点が必要だし、それをみんなで共有することが大切。
- ・せっかく集まったので、もっと意見を言える時間が欲しかった。
- ・今あるポテンシャルを活かしつつ、早めの手を打つ感度の良さを磨き続けることが大切。
- ・市が力を入れていること等について、もっと広く市民に知らせてほしい。行政と市民が、一丸となってやりましょう！

裏面に続く

## SIMULATION こだいら 2030 国土交通大学校（小平市喜平町）で開催！

去る9月30日、小平市（喜平町）に所在する国土交通省の研修機関「国土交通大学校」で開催された「官民交流研修」において、市職員が登壇し「SIMULATION こだいら 2030」(※2)（以下「SIM」という）を実施しました。



地元ケーブルテレビのニュース番組で紹介されました

市では、長期総合計画策定に向けた市民ワークショップの一環として5月にSIMを開催しており、そのことを報道で知った国土交通大学校から市に依頼があり、今回実現の運びとなりました。

公民（官民）連携は、今後のまちづくりにおいても重要な視点であり、今回の交流は、相互に有意義なものとなりました。



市職員が講師として登壇



盛り上がるグループ討議

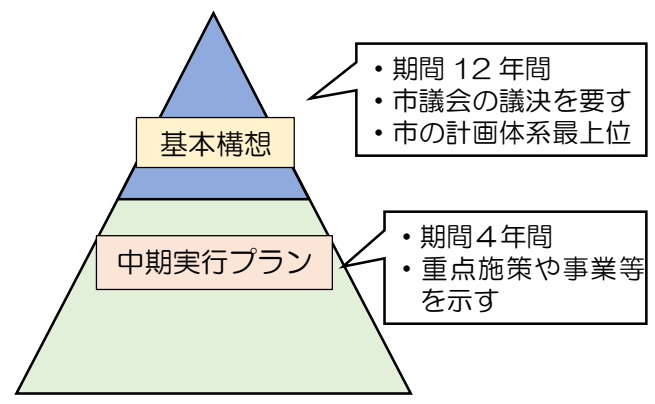
小平市と国土交通大学校は、昨年7月に「連携・協力に関する協定」を締結しています。



### (※1) 長期総合計画って何？

市の将来像や進むべき方向性を示す計画です。  
 長期総合計画は、市議会の議決を必要とする「基本構想」を含んでおり、この「基本構想」は市の計画体系の最上位に位置づけられます。  
 現在策定を進めている「(仮称)小平市第四次長期総合計画」は、右の図のとおり「基本構想」と「(仮称)中期実行プラン」の2層構造を想定しています(両方を合わせて「長期総合計画」といいます)。  
 「基本構想」の計画期間は12年を想定しており、「(仮称)中期実行プラン」の計画期間は、市長任期に合わせた4年間を想定しています。

「(仮称)小平市第四次長期総合計画」模式図



分野ごとの計画（都市計画マスタープラン、地域保健福祉計画等）は、最上位である「基本構想」に基づいて策定しているんですね。

### (※2) 自治体経営シミュレーションゲーム「SIMULATION こだいら 2030」とは？

近未来の自治体経営を体験するシミュレーションゲームをです。  
 熊本県職員が作成した「SIMULATION 熊本 2030」が最初で、その後全国各地でご当地版が作成されています。「SIMULATION こだいら 2030」は小平市のご当地版であり、小平市の職員有志が小金井市の職員有志と協力して作成したものがベースとなっています。

参加者は、5人グループとなって、架空の街「けいみらい市」（K未来市）の市役所幹部（部長）となり、事業の取捨選択や議会での説明等、市の経営をゲーム形式で体験することができます。

**【問合せ先】**  
 小平市企画政策部政策課  
 総合計画担当  
 電話：042-346-9503  
 F A X：042-346-9513